

喜多方市内でラーメンが食べられる店舗一覧

※喜多方ラーメン課調べ（掲載情報は2026.6.5現在のものです。）

※下記 店舗は協同組合蔵のまち喜多方老麺会加盟店舗

赤れんが 喜多方(岩月町)	ラーメン一平 喜多方(松山町)	生江食堂 喜多方(市街地)	かど屋・食堂 喜多方(市街地)	ラーメンこうへい 喜多方(市街地)	老麺まるや 喜多方(市街地)
福島屋 喜多方(市街地)	たまよし食堂 喜多方(市街地)	蔵 美 喜多方(市街地)	蔵一番やまぐち 喜多方(市街地)	こんどう食堂 喜多方(市街地)	中華料理 春園 喜多方(市街地)
食堂 松 喜多方(市街地)	坂内食堂 喜多方(市街地)	大三元 喜多方(市街地)	たんぼぼ亭 喜多方(市街地)	大安食堂 喜多方(市街地)	ラーメンSHOPくるくる軒 喜多方(市街地)
来 夢 喜多方(市街地)	いそべ食堂 喜多方(熊倉町)	本家大みなど味平 喜多方(関柴町)	櫻井食堂 喜多方(市街地)	食堂なまえ 喜多方(市街地)	大 喜 喜多方(関柴町)
すがい食堂 喜多方(豊川町)	老舗 上海 喜多方(市街地)	すがい食堂 <small>バイパス店</small> 喜多方(関柴町)	あじ庵食堂 喜多方(市街地)	塩川屋 喜多方(市街地)	麺や玄 喜多方(市街地)
中華そば 橙 喜多方(市街地)	会津田舎家 喜多方(市街地)	葵飯店 喜多方(市街地)	蔵座敷 あづまさ 喜多方(市街地)	食堂いとう 喜多方(市街地)	うえんで 喜多方店 喜多方(市街地)
ラーメン うめ八 喜多方(市街地)	ウリナム食堂 喜多方(市街地)	中華 栄 豊 喜多方(市街地)	ラーメン 喜一 喜多方(関柴町)	きくすい 喜多方(市街地)	喜多屋 喜多方(市街地)
<small>喜多方ラーメン専門店</small> 喜鈴 喜多方店 喜多方(市街地)	けいこのぎょうざや 喜多方(市街地)	香 福 喜多方(市街地)	<small>喜多方ラーメン</small> 心美 喜多方(市街地)	台湾料理 広源 喜多方(市街地)	石亭みよし 喜多方(市街地)
せせらぎ食堂 喜多方(市街地)	ちよもと 喜多方(市街地)	道頓堀 喜多方(市街地)	とりそばにこみ和 喜多方(市街地)	とんかつ栄 喜多方(市街地)	ニーハオ 喜多方(市街地)
長谷川食堂 喜多方(市街地)	<small>ラーメン酒場</small> ばってん 喜多方(市街地)	<small>RAMEN SHOKUDO!</small> ばがるす 喜多方(市街地)	ひさじや食堂 喜多方(市街地)	ひとつぶの麦 喜多方(松山町)	<small>お食事とお酒</small> 舟場α 喜多方(市街地)
満 喜 喜多方(市街地)	<small>ララゴッツォ</small> Là Là Gottsuo 喜多方(市街地)	純手揉み中華 れん 喜多方(市街地)	はせ川 喜多方(松山町)	<small>道の駅喜多の郷</small> ふるさと亭 喜多方(松山町)	ほおずき 喜多方(松山町)
食堂 ぽんぽこ 喜多方(松山町)	そば処 うちうみ 喜多方(岩月町)	ミセスキャロット 信喜亭 喜多方(関柴町)	麺 侍 喜多方(関柴町)	<small>喜多方ラーメン</small> わんわん 喜多方(関柴町)	さくら亭 喜多方(豊川町)
天高盛 喜多方(豊川町)	まつり亭 喜多方(豊川町)	ほまれ食堂 熱塩加納町	大森食堂 熱塩加納町	めん処 縁 熱塩加納町	<small>ごはんやカフェ</small> おぐみ屋 熱塩加納町
アタミ食堂 塩川町	丸市食堂 塩川町	丸萬食堂 塩川町	みさお食堂 塩川町	若 竹 塩川町	御食事処 丸市 塩川町
春日遅遅 塩川町	じんべい 山都町	ほがらか食堂 山都町	<small>山都そば処</small> 萬長 山都町	食堂たんぼぼ 山都町	吉田屋 高郷町
味処こまち 高郷町	幸楽苑 喜多方店 喜多方(市街地)	幸楽苑 イオンタウン店 喜多方(塩川町)	はま寿司 喜多方店 喜多方(豊川町)	<small>カラオケレストラン</small> グー! 喜多方店 喜多方(市街地)	



喜多方ラーメンブランド向上のために

喜多方ラーメンを盛り上げることは、喜多方市全体の活性化につながります。市民ひとりひとりが喜多方ラーメンの振興発展に向け「喜多方ラーメンの日」のみならず毎月17日をはじめ、7のつく日は積極的に喜多方ラーメンを食べましょう。



喜多方ラーメンの日とは

日本で古くから77歳をお祝いする「喜寿」は、喜多方と同じ「喜」が使われています。「喜」は草書体で表すと「𠄎」となり「七十七」とも読めることから喜寿の語源となりました。そこで喜多方市では、おめでたい喜寿にあやかり、喜多方ラーメンのさらなる発展を願い、7月17日を「喜多方ラーメンの日」として一般社団法人 日本記念日協会に登録申請し、正式に登録が認められました。



ラーメンのまち喜多方

喜多方ラーメンの始まりは、大正末期から昭和初期にさかのぼります。当時、市内にはラーメン店というものはありませんでしたが、中国から渡ってきた一人の青年がチャルメラを吹きながら屋台をひいてラーメン（支那そば）を売り歩いていました。その手作り支那そばこそが90余年の歴史を持つ喜多方ラーメンの元祖と言われています。

7月17日は 喜多方 ラーメンの日



ラーメンを提供しているものの上記に記載のない場合は、お手数ですが喜多方ラーメン課までお知らせください。

